

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第15号

イチゴのハダニ類について

イチゴのハダニ類については、定植後11月頃までは、平年よりもやや少なく推移していました。しかし、年末が高温傾向で推移したため徐々に発生量が増加し、現在は寄生株率が平年並で、発生ほ場率が平年・前年よりも高い状況となっています。

ハダニ類に対しては薬剤感受性の低下が顕著であり、多発後は防除が困難になるので、発生状況に注意し、初期防除を徹底しましょう。

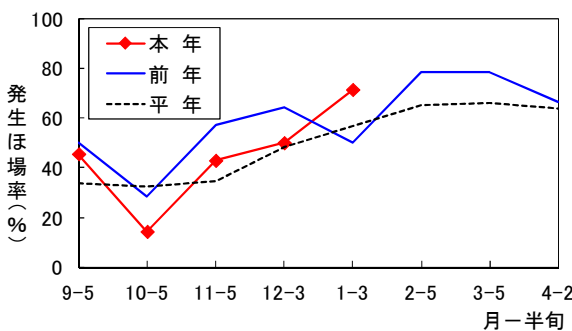
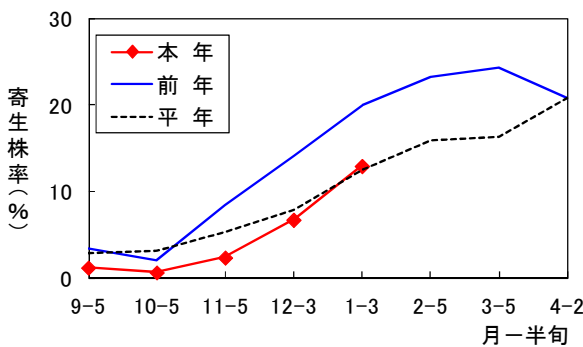
1 対象作物名：イチゴ

2 病虫害名：ハダニ類

3 発生状況

1月3半旬調査の結果、寄生株率は13%、発生ほ場率は71.4%であった。寄生株率は平年並であったが、14調査地点中5地点で、寄生株率20%以上であり、11月以降増加傾向が続いている。また、発生ほ場率は平年・前年よりも高かった。

- ・ 1月3半旬の寄生株率 **13%** (平年 12.5%、前年 20%)
- ・ 1月3半旬の発生ほ場率 **71.4%** (平年 57%、前年 50%)



ハダニ類の発生推移

各調査地点ごとのハダニ類の発生状況(1月3半旬調査)

調査地点	寄生株率 (%)
A地点	8
B地点	2
C地点	22
D地点	10
E地点	0
F地点	20
G地点	20
H地点	18
I地点	22
J地点	2
K地点	0
L地点	58
M地点	0
N地点	0
平均	13

4 薬剤感受性の状況

イチゴのナミハダニの薬剤感受性については下記の表の通りで、地域ごとの個体群による差はあるが、安定して効果の高い薬剤は少ない。

イチゴナミハダニ雌成虫に対する殺虫効果

個体群	補正死亡率(%)					
	コロマイト 水和剤 2,000倍	アファーム 乳剤 2,000倍	カネマイト フロアブル 1,000倍	スターマイト フロアブル 2,000倍	ダニサラバ フロアブル 1,000倍	マイトコーネ フロアブル 1,000倍
a地域	8.3	87.4	72.3	55.6	3.7	90.6
b地域	12.9	90.3	22.6	89.3	18.9	71.5
c地域	28.6	96.8	32.5	55.4	22.4	18.7
d地域	16.0	57.7	25.0	21.8	16.0	47.7
e地域	26.9	100.0	39.4	72.0	48.5	100.0
f地域	0.5	81.3	52.8	69.0	0.9	91.7
g地域	42.6	100.0	100.0	63.1	92.6	100.0
h地域	81.5	100.0	88.9	65.6	31.1	96.3
i地域	55.1	100.0	100.0	74.4	47.1	100.0

注) 1. 2016年7月、福岡県農林業総合試験場病害虫部検定。

2. 網かけ・太字は補正死亡率70%以下。

5 防除上注意すべき事項

- (1) ハウス内外の除草を徹底し、本虫の増殖源を絶つ。除草した雑草や摘葉した葉はハウス内に放置せず、ビニル袋等に入れて密封し処分する。
- (2) 多発後は防除が困難になるので、発生状況に注意し、初期防除を徹底する。なお、防除は摘葉後に行うと効果的である。
- (3) ハダニ類に登録のある薬剤の多くは浸透移行性が乏しいため、必要に応じて展着剤を加用し、葉裏に薬液が十分付着するよう防除を行う。
- (4) 抵抗性がつきやすいので、同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布の中に気門封鎖剤も組み入れ、効果的な防除に努める。
- (5) 薬剤感受性が低下しているため天敵の利用を推奨するが、天敵を利用する場合は、天敵に影響が少ない薬剤でハダニの密度を低下させ、薬剤の影響日数を考慮して天敵を放飼する。



ナミハダニの雌成虫および卵



ナミハダニが多数寄生した葉裏